

平成29年度 PDCAサイクルづくり支援事業

C調査の全県集計結果

教学指導課

1 調査教科及び調査した児童生徒数 ()内は参加校数

	国語		算数・数学		英語	
小学校5年	14069人	(294校)	14061人	(294校)		
小学校6年	7161人	(160校)	7234人	(162校)		
中学校1年			13263人	(158校)		
中学校2年	13914人	(161校)	12916人	(147校)	13888人	(161校)

2 各問の正答率 単位は%

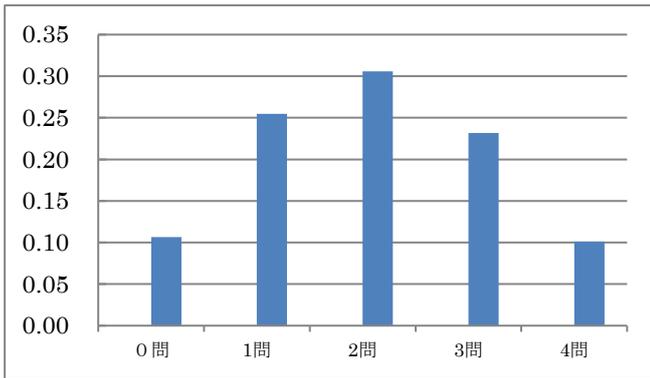
小学校5年	国語	1一	1二	2一	2二							
		43.5	34.9	37.8	80.3							
	算数	【1】 (1)	【1】 (2)	【1】 (3)	【1】 (4)	【2】	【3】 (1)	【3】 (2)	【4】 (1)	【4】 (2)	【5】 (1)	【5】 (2)
59.1		89.5	69.0	60.8	63.9	36.1	21.1	60.8	13.1	59.6	54.2	46.2
小学校6年	国語	1一	1二	2一	2二							
		77.0	62.6	75.7	45.5							
	算数	【1】 (1)	【1】 (2)	【1】 (3)	【2】	【3】	【4】 (1)	【4】 (2)	【5】 (1)	【5】 (2)	【5】 (3)	
84.8		72.1	78.7	79.3	67.7	69.9	48.3	81.2	60.5	59.1		
中学校1年	数学	【1】 (1)	【1】 (2)	【1】 (3)	【2】	【3】 (1)	【3】 (2)	【3】 (3)	【4】 (1)	【4】 (2)		
		45.1	40.5	58.1	61.5	62.0	63.1	39.5	40.7	38.9		
中学校2年	国語	1一	1二	2一	2二	2二ア	2二イ					
		66.4	50.9	60.4	19.8	75.5	69.3					
	数学	【1】	【2】	【3】(1)	【3】(2)	【4】(1)	【4】(2)	【4】(3)	【5】(1)	【5】(2)①	【5】(2)②	【5】(3)
		52.5	63.4	49.9	59.2	51.0	14.2	62.0	33.8	26.2	40.6	19.2
	英語	1一	1一	1一	1一	1一	1一	2一	2一	2一		
【1】		【2】	【3】	【4】	【5】	【6】	【1】	【2】	【3】			
75.0	60.8	49.3	37.3	68.9	63.5	33.8	36.5	16.5				

3 正答数の分布 単位は%

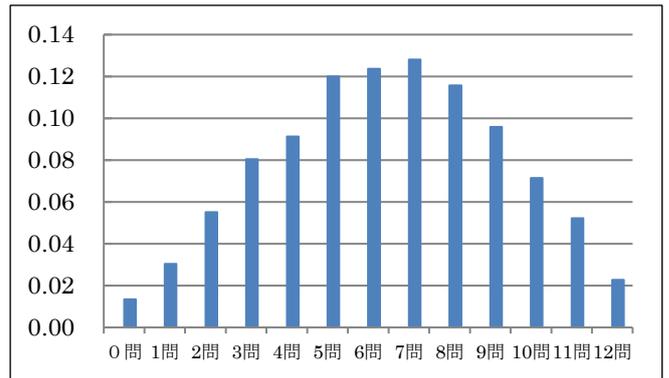
	0問	1問	2問	3問	4問	5問	6問	7問	8問	9問	10問	11問	12問
小学校5年国語	10.7	25.5	30.6	23.2	10.1								
小学校5年算数	1.3	3.0	5.5	8.1	9.1	12.0	12.4	12.8	11.6	9.6	7.1	5.2	2.3
小学校6年国語	4.9	12.9	24.9	31.4	26.0								
小学校6年算数	1.5	2.5	3.5	4.7	6.3	7.3	9.3	12.7	14.9	19.4	18.1		
中学校1年数学	4.8	8.8	11.3	12.2	13.2	13.0	12.4	10.5	8.5	5.2			
中学校2年国語	3.4	7.8	14.7	22.7	26.1	19.5	5.9						
中学校2年数学	4.6	7.4	9.8	12.4	14.3	13.6	12.6	10.5	7.1	4.6	2.3	0.7	
中学校2年英語	1.7	5.2	11.3	16.9	19.0	16.1	12.2	9.5	5.8	2.3			

正答数の分布グラフ（単位%）

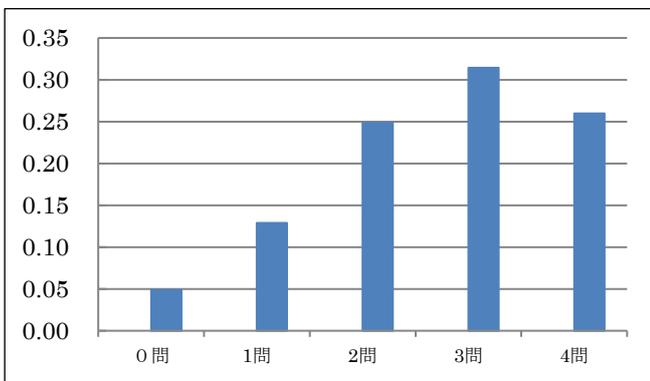
小5 国語



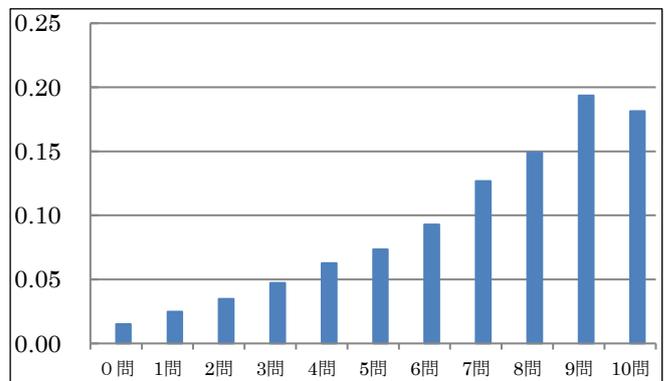
小5 算数



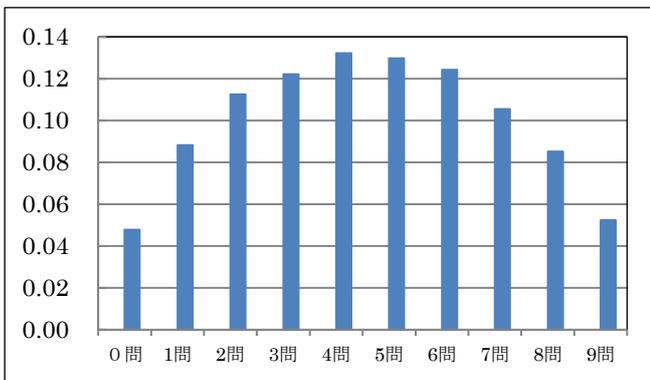
小6 国語



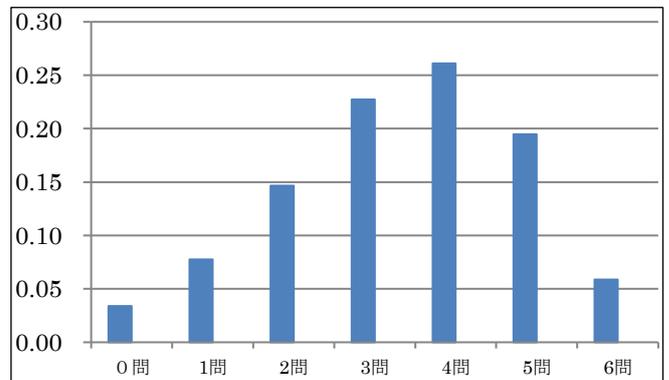
小6 算数



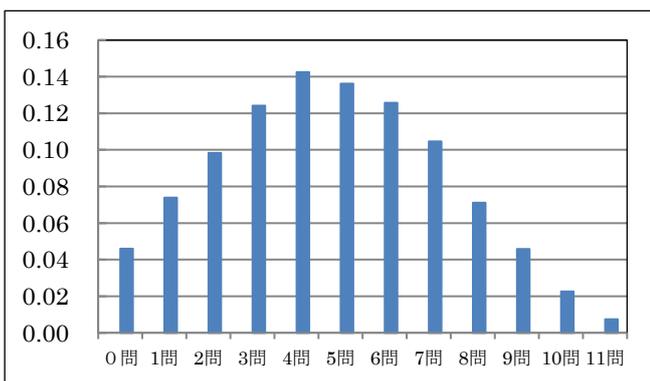
中1 数学



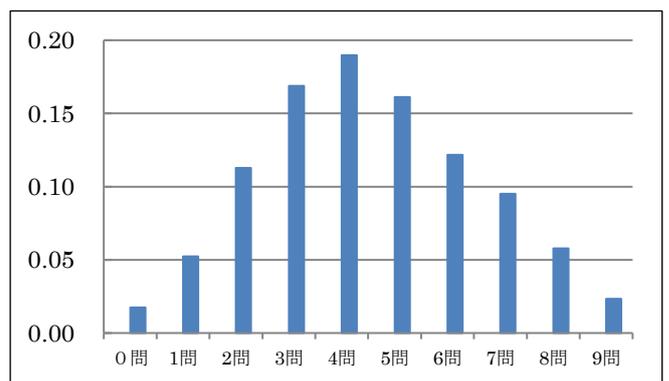
中2 国語



中2 数学



中2 英語



◆出題の意図

数量の関係を文字式で表すことができているかどうかをみる。

◆学習指導要領との関連

第1学年 A 数と式

(2) 文字を用いて数量の関係や法則などを式に表現したり式の意味を読み取ったりする能力を培うとともに、文字を用いた式の計算ができるようにする。

エ 数量の関係や法則などを、文字を用いた式に表すことができることを理解し、式を用いて表したり読み取ったりすること。

◆解答類型

	解答類型	人	%
1◎	$a / 5$ と解答しているもの。		
2○	$a \div 5$ と解答しているもの。		
3	$5 / a$ と解答しているもの。		
4	$5 \div a$ と解答しているもの。		
5	$5 a$ と解答しているもの。		
9	上記以外の解答		
0	無解答		

◆今後の指導の方向

①この問題の補充・補完

全国学力・学習状況調査 H28A 2 (1)

レビュー問題 中1②-1-1

②授業改善

・具体的な数や言葉を使った式を利用して数量の関係を捉え、その関係を文字式で表すことができるように指導しましょう。

例えば、本問題を使って授業を行う際には、針金の重さ「 a g」を具体的な数に置き換えて針金の重さと長さの関係を捉えるような活動を取り入れることが考えられます。その際、 $a = 100$ とすると、5m のとき 100 g であることから、10m のとき 200 g であることなどを確認した上で、針金 1 m あたりの重さが言葉を使った式「(針金の重さ) \div (針金の長さ)」で表されることを見だし、2つの数量の関係を文字式で表すことができるように指導することが大切です。

【1】(2)

◆出題の意図

一元一次方程式の解の意味を理解しているかどうかをみる。

◆学習指導要領との関連

第一学年 A 数と式

(3) 方程式について理解し、一元一次方程式を用いて考察することができるようにする。

ア 方程式の必要性と意味及び方程式の中の文字や解の意味を理解すること。

◆解答類型

	解答類型	人	%
1	ア と解答しているもの。(この方程式の解は6である)		
2◎	イ と解答しているもの。(この方程式の解は3である)		
3	ウ と解答しているもの。(この方程式の解は3と6である)		
4	エ と解答しているもの。(この方程式の解は3でも6でもない)		
9	上記以外の解答		
0	無解答		

◆今後の指導の方向

①この問題の補充・補完

H22 全国学力・学習状況調査 A³(1)

レビュー問題 中1 ③1-1

②授業改善

・様々な数を方程式の文字に代入して、それらが解であるかを検討する場面を設定し、方程式の解の意味を理解できるように指導することが大切です。例えば、本問題を授業で行う際には、左辺と右辺にある x が同じ値であることを確認し、その上で $2x = x + 3$ を満たす x の値を求めるために、左辺と右辺の x に具体的な数を代入し、左辺と右辺それぞれの値が等しくなるときの x の値を見つけるような活動が考えられます。また、その値が方程式の解であることを確認する場面を設定することが大切です。その際、方程式の解とは方程式を成り立たせる文字の値であることを踏まえ、6は x の値が3のときの両辺の式の値であり、3が等式を成り立たせる x の値であることから、3がこの方程式の解であることを理解できるようにすることも大切です。

【1】(3)

◆出題の意図

具体的な場面で、一元一次方程式を作ることができるかどうかをみる。

◆学習指導要領との関連

第一学年 A 数と式

(3) 方程式について理解し、一元一次方程式を用いて考察することができるようにする。

ウ 簡単な一元一次方程式を解くこと及びそれを具体的な場面で活用すること。

◆解答類型

	解答類型	人	%
1◎	$6x + 16 = 8x - 4$ または $\begin{cases} y = 6x + 16 \\ y = 8x - 4 \end{cases}$ と解答しているもの。		
2	$6x - 16 = 8x + 4$ または $\begin{cases} y = 6x - 16 \\ y = 8x + 4 \end{cases}$ と解答しているもの。		
3	$x/6 + 16 = x/8 - 4$ または $\begin{cases} y = x/6 + 16 \\ y = x/8 - 4 \end{cases}$ と解答しているもの。		
4	上記以外の一元一次方程式を解答しているもの。		
5	$6x + 16$ または $8x - 4$ を解答しているもの。		
9	上記以外の解答		
0	無解答		

◆今後の指導の方向

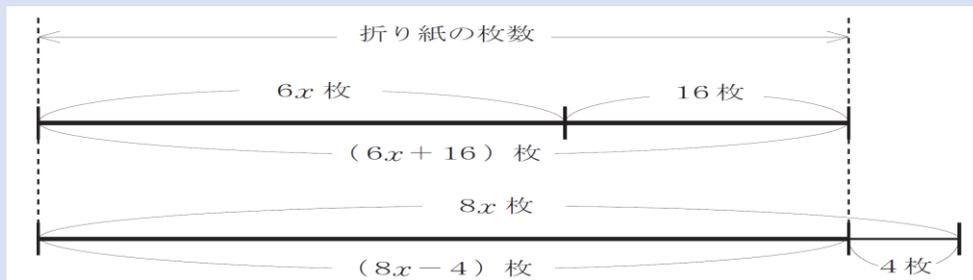
①この問題の補充・補完

H21 全国学力・学習状況調査 A³(3)

レビュー問題 中1③-2-1

②授業改善

・ある特定の量に着目して線分図や表などに数量の関係を表し、等しい関係を見いだす場面を設定し、問題解決の場面で数量の関係を捉え、一元一次方程式をつくることができるように指導しましょう。例えば、本問題では、折り紙の枚数に着目し、線分図などを利用して数量の関係を捉え、生徒の人数を x 人とするとき、折り紙の枚数は $6x + 16$ と $8x - 4$ の2通りに表すことができることや、それらが等しい関係にあることから、等号を用いて方程式に表せることを確認する場面を設定することが考えられます。



【2】

◆出題の意図

2つの負の数の和は負の数になることを理解しているかどうかをみる。

◆学習指導要領との関連

第1学年 A 数と式

(1) 具体的な場面を通して正の数と負の数について理解し、その四則計算ができるようにするとともに、正の数と負の数を用いて表現し考察することができるようにする。

イ 小学校で学習した数の四則計算と関連付けて、正の数と負の数の四則計算の意味を理解すること。

◆解答類型

	解答類型	人	%
1◎	ア と解答しているもの。(a + b)		
2	イ と解答しているもの。(a - b)		
3	ウ と解答しているもの。(a × b)		
4	エ と解答しているもの。(a ÷ b)		
9	上記以外の解答		
0	無解答		

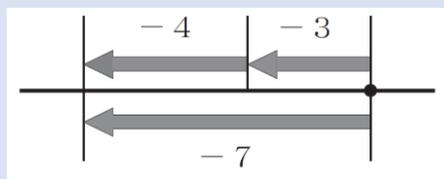
◆今後の指導の方向

①この問題の補充・補完

レビュー問題 中1①-2-3

②授業改善

・正の数と負の数の四則計算の意味を理解できるようにするために、数直線を用いるなどして、四則計算の意味について理解する活動を取り入れることが考えられます。例えば、aを-3、bを-4とすると、四則計算はそれぞれ $(-3) + (-4)$ 、 $(-3) - (-4)$ 、 $(-3) \times (-4)$ 、 $(-3) \div (-4)$ となります。その際に、 $(-3) + (-4)$ の結果は、下のような数直線を用いることによって、-7であることがわかり、矢印がいずれも負の方向を向いていることから計算結果は、必ず負の数になることを説明する場面を設定することが考えられます。



【3】(1)

◆出題の意図

問題場面における考察の対象を明確に捉えているかどうかをみる。

◆学習指導要領との関連

第1学年 A 数と式

(2) 文字を用いて数量の関係や法則などを式に表現したり式の意味を読み取ったりする能力を培うとともに、文字を用いた式の計算ができるようにする。

ア 文字を用いることの必要性和意味を理解する。

◆解答類型

	解答類型	人	%
1◎	12 と解答しているもの。		
2	15 と解答しているもの。		
3	13 と解答しているもの。		
9	上記以外の解答		
0	無解答		

◆今後の指導の方向

①この問題の補充・補完

レビュー問題 小4 ⑦-4

クリア・チャレンジ問題 小6クリア問題 8月②

②授業改善

・問題場面についての考察の対象を明確に捉えるために、具体的な数を用いることができるように指導することが大切です。例えば本問題なら、実際に基石を並べたりノートに図を書いたりすることを通して、基石のまとまりに着目し、どのような囲み方をすると効果的に基石全部の個数を求められるかを考え、そのようにして計算して求めた結果と、1つずつ数えた結果を対比するような活動が考えられます。

(2)

◆出題の意図

数学的に表現された結果を事象に即して解釈することができるかどうかをみる。

◆学習指導要領との関連

第1学年 A 数と式

(2) 文字を用いて数量の関係や法則などを式に表したり式の意味を読み取ったりする能力を培うとともに、文字を用いた式の計算ができるようにする。

ア 文字を用いることの必要性和意味を理解する。

◆解答類型

	解答類型	人	%
1	ア と解答しているもの。		
2◎	イ と解答しているもの。		
3	ウ と解答しているもの。		
4	エ と解答しているもの。		
9	上記以外の解答		
0	無解答		

◆今後の指導の方向

①この問題の補充・補完

チャレンジ問題 中1 5月 ②, 9月①

②授業改善

・事象を数学的に考察するために、数量の関係を表す式を事象に即して解釈することができるように指導することが大切です。例えば、本問題なら、 $3(n-1)$ の式から $(n-1)$ 個のまとまりが3つあることを捉え、図1において $(n-1)$ 個のまとまりを作るために、1辺に並んでいる n 個の基石から一方の頂点の基石を除いた部分に着目し、囲み方を考える場面を設定することが考えられます。

(3)

◆出題の意図

事象を数学的に表現したり、数学的に表現された結果を事象に即して解釈したりすることを通して、事柄が成り立つ理由を筋道立てて説明することができるかどうかをみる。

◆学習指導要領との関連

第1学年 A 数と式

(2) 文字を用いて数量の関係や法則などを式に表したり式の意味を読み取ったりする能力を培うとともに、文字を用いた式の計算ができるようにする。

ア 文字を用いることの必要性和意味を理解する。

◆解答類型

	解答類型	人	%
	(正答の条件) 次の (a), (b), (c) について記述しているもの、または (d) について記述しているもの。 (a) 頂点にある3個以外の基石を、辺ごと囲んでいること。 (b) 1辺には $(n-2)$ 個あり、そのまとまりが3つあること。 (c) 基石全部の個数は、3つのまとまりと頂点の基石の総数の和であること。 (d) $3(n-2)+3$ と同値な式を示し、その式で基石全部の個数を求められることがすでに問題文で示されていること。 (正答例) 正三角形の辺ごとに頂点以外の基石を囲んでいるので、1つのまとまりの個数は $(n-2)$ 個である。同じまとまりが3つあるので、このまとまりで数えた基石の $3(n-2)$ 個になる。このとき、各頂点の基石を数えていないので、基石全部の個数は、 $3(n-2)$ 個より3個多い。		
1◎	(a), (b), (c) について記述しているもの		
2○	(a), (b) のみを記述しているもの		
3○	(a) についての記述が十分でなく、(b), (c) について記述しているもの		
4	(a) についての記述が十分でなく、(b) について記述し、(c) について記述していないもの		

5	上記1～4について、(b)について記述していないもの		
6	上記1～4について、(a)について記述していないもの((c)のみを記述しているものを含む)		
7◎	(d)について記述しているもの		
8○	(d)について、「基石全部の個数を求められること」、「問題文で説明されていること」のいずれか、またはその両方について記述していないもの		
9	上記以外の解答		
0	無解答		

◆今後の指導の方向

①この問題の補充・補完

チャレンジ問題 中1 5月 ②, 9月①

②授業改善

・数量の関係を式に表し、その式を事象に即して説明できるように指導することが大切です。図3の囲み方で基石全部の個数を求めると $3(n-2)+3$ という式で表せることを確認し、その囲み方と式 $3(n-2)+3$ を比べて、式の $(n-2)$ が「1辺の頂点以外の基石の個数」を意味していることや $+3$ が「数えられていない頂点の基石の数」を意味していることなどを読み取る場面を設定することが考えられます。その上で、図3の囲み方に即して、式 $3(n-2)+3$ で基石全部の個数を求められる理由を説明できるように指導することが考えられます。

【4】(1)

◆出題の意図

示された式の中の数の意味を、表と関連付けながら正しく解釈し、それを言葉を用いて記述できているかどうかを見る。

◆学習指導要領との関連

第4学年 D 数量関係

(4) 目的に応じて資料を集めて分類整理し、表やグラフを用いて分かりやすく表したり、特徴を調べたりすることができるようにする。

ア 資料を2つの観点から分類整理して特徴を調べること。

◆解答類型

解答類型		人	%
(正答の条件) 次の①、②の全てを書き、記号イと解答している。 ① ハンカチを持ってきた人数であること ② ティッシュペーパーを持ってこなかった人数であること (正答例) 8は、ハンカチを持ってきて、ティッシュペーパーを持ってこなかった人数です。 記号 イ			
	「8」が表す人数	記号	
1◎	①、②の全てを書いている	イ と解答しているもの	
2		イ 以外を解答しているもの 無解答	
3	①を書いている	イ と解答しているもの	
4	②を書いている	イ 以外を解答しているもの 無解答	
5	イ 以外の記号の示す表の位置を正しく説明している	エ と解答しているもの	
6		イ, エ 以外を解答しているもの	
7	類型1から類型6以外の解答 無解答	イ と解答しているもの	
9	上記以外の解答		
0	無解答		

◆今後の指導の方向

①この問題の補充・補完

全国学力・学習状況調査 H28B²(3), H22B³(2)

②授業改善

・日常生活の問題の解決のために、目的を明確にし、その目的に応じて資料を集めて分類整理したり、それを表やグラフなどに分かりやすく表現したり、特徴を調べたり、読み取ったりすることが大切です。例えば本問題を用いて、ハンカチとティッシュペーパーを両方持ってきた人数が書かれていないことから、2年生の結果の二次元表を作り直す活動を設けることが考えられます。その際に、「さくらさんの式」の意味を二次元表と関連付けて、2つの項目に着目し説明し合いながら、二次元表に数を適切に当てはめることができるようにすることが大切です。

【4】(2)

◆出題の意図

割合を比較するという目的に適したグラフを選ぶことができるかどうかをみる。

◆学習指導要領との関連

第3学年 D 数量関係

(3) 資料を分類整理し、表やグラフを用いて分かりやすく表したり読み取ったりすることができるようにする。

ア 棒グラフの読み方や書き方について知ること

第5学年 D 数量関係

(4) 目的に応じて資料を集めて分類整理し、円グラフや帯グラフを用いて表したり、特徴を調べたりすることができるようにする。

◆解答類型

	解答類型	人	%
1	1 と解答しているもの。		
2	2 と解答しているもの。		
3◎	3 と解答しているもの。		
4	4 と解答しているもの。		
9	上記以外の解答		
0	無解答		

◆今後の指導の方向

①この問題の補充・補完

全国学力・学習状況調査 H27A⁷, H26B² (3)

②授業改善

・問題を解決するために、目的に合った表やグラフを選択したり、読み取ったり、グラフどうしを関連付けて解釈したりするなど、目的に応じて表やグラフを活用できるようにすることが大切です。その際、棒グラフは数量の大きさを示し、帯グラフや円グラフは数量の割合を示すなどの目的があることを理解できるようにすることが大切です。

振り返りシート

国語のC調査問題は、4月に実施したP調査問題の結果から明らかになった各校の課題が、2学期までの授業でどのくらい改善できているかを確認できるように作成してあります。

下記のようにP調査問題と関連付けてありますので、自校の取組の成果と課題改善のためにご活用ください。

問題番号	「平成29年度 P調査問題」との関連
1	平成29年度 P調査問題 1
2	平成29年度 P調査問題 2

中学校2年国語1

◆出題の意図

- ・話の展開などに注意して聞き、自分の考えと比較することができるかをみる。
- ・互いの発言を検討して自分の考えを広げることができるかをみる。

◆学習指導要領との関連

〔小学校第5学年及び第6学年〕 A 話すこと・聞くこと

エ 話し手の意図をとらえながら聞き、自分の意見と比べるなどして考えをまとめること。

〔第1学年〕 A 話すこと・聞くこと

オ 話し合いの話題や方向をとらえて的確に話したり、相手の発言を注意して聞いたりして、自分の考えをまとめること。

P調査の正答率 (%) (参考)

(人) (%) ↓

◆解答類型

問題番号	解答	正答率 (%) (参考)	
		(人)	(%)
1	1◎	「2」と解答しているもの	73.5
	9	上記以外の解答	
	0	無解答	

1	二	(正答の条件) 次の条件を満たして解答している。 ① 【隣の席の人と話している様子の一部】から、「みんなが参加する」「何かに挑戦する」ことを、【黒板にまとめた意見】の大縄跳びの短所から、「難しい」ことを踏まえて書いている。 ② 自分の立場とその理由を書いている。 ③ 40字以上、50字以内で書いている。 (正答例) ・みんなで難しいことに挑戦することでクラスの団結がより強まると思うので、大縄跳びがよいと思います。(48字)		
		1◎	条件①②③を満たして解答しているもの	60.0
	2	条件①②を満たし、条件③を満たさないで解答しているもの (例) 難しいことにチャレンジすれば団結が強まるから、大縄跳びがよい。(31字) ←字数が不足している		
	3	条件①③を満たし、条件②を満たさないで解答しているもの (例) 難しいことにみんなでチャレンジすることで、クラスの団		

1	二		結がもっと強いものになると思います。(44字) ←自分の立場が書かれていない。			
		4	条件②③を満たし、条件①を満たさないで解答しているもの (例) 私は大縄跳びがよいと思います。なぜなら、大縄跳びは楽しいし、みんなで協力し合えるからです。(45字) ←【隣の席の人と話し合っている様子の一部】や【黒板にまとめた意見】の内容を踏まえて書いていない。			
		9	上記以外の解答			
		0	無解答			

◆授業改善の方向

○目的に沿った話し合いを行うためのポイントについて理解を深める授業展開例

- ① 話し合いを行う〈話し合いグループ〉と、その様子を観察する〈観察グループ〉とに分かれる。
- ② テーマを決め、5分から10分程度の話し合いを行う。〈観察グループ〉は、話し合いの様子を動画に記録するとともに、話し合いの仕方として気になる発言についてメモを取る。

《テーマの例》

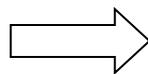
- ◇ 学級目標をどのように決めるか。
 - ◇ レクリエーションで行う運動競技を何にするか。
 - ◇ 学級で作る文集の題名を何にするか。
- ③ 二つのグループが合同で、記録した動画を見ながら発言の意図や効果について検討する。
 - ④ ③で話し合ったグループごとに目的に沿った話し合いを行うためのポイントをまとめ、発表する。

《目的に沿った話し合いを行うためのポイント例》

- ☆ 互いの考えの共通点や相違点を整理する。
- ☆ 必要に応じて別の視点や立場からも考える。
- ☆ 相手の立場や考えを尊重する。

(参照)「平成28年度授業アイデア例 P4～P5」

補充・補完指導をしましょう



チャレンジ問題 中2 1月

中学校2年国語2

◆出題の意図

- ・目的に応じて文章を要約することができるかどうかをみる。
- ・課題を決め、それに応じた情報の収集方法を考えることができるかどうかをみる。

◆学習指導要領との関連

〔第1学年〕 C 読むこと

- イ 文章の中心的な部分と付加的な部分、事実と意見などを読み分け、目的や必要に応じて要約したり要旨をとらえたりすること。

〔第1学年〕 C 読むこと

カ 本や文章などから必要な情報を集めるための方法を身に付け、目的に応じて必要な情報を読み取ること。

P 調査の正答率 (%)	
(人)	(%)
	↓

◆解答類型

2	-	1◎	「4」と解答しているもの			44.4	
		9	上記以外の解答				
		0	無解答				
2	二	1◎	「本当は、自」と解答しているもの				
		9	上記以外の解答				
		0	無解答				
2	三 ア	(正答の条件) 次の条件を満たして解答している。 ① 【本の一部】を読んで「ハテナ」について疑問に思ったことを一つ書いている。 ② 「なぜ」、「どのような(に)」、「どのくらい」という言葉のいずれか一つを使って書いている。 ③ 20字以上、40字以内で書いている。 (正答例) ・ハテナは、なぜ細胞分裂した片方に緑藻類を持たないのだろうか。(30字) ・ハテナの体の大きさは、どのくらいなのだろうか。(23字) ・ハテナは、どのようなものをエサとして捕食しているのだろうか。(30字)					
		1◎	条件①②③を満たして解答しているもの			78.0	
		2	条件①②を満たし、条件③を満たさないで解答しているもの (例) どのような形か。(8字) ←字数が不足している				
		3	条件①③を満たし、条件②を満たさないで解答しているもの (例) ハテナは、どこで暮らしているのだろうか。(20字) ←指示にある言葉を使っていない。				
		4	条件②③を満たし、条件①を満たさないで解答しているもの (例) ハテナのような生物は、他にもどのくらいいるのだろうか。(22字) ←「ハテナについて疑問に思ったこと」を書かずに、他の生物についての疑問を書いている。				
		9	上記以外の解答				
		0	無解答				
2	三 イ	(正答の条件) 次の条件を満たして解答している。 ① 必要な本の探し方を書いている。 ② 20字以上、40字以内で書いている。					

2	三 イ	(正答例) ・ 図書の分類に従って、自然科学に関する本が置いてある棚に行く。 (30字) ・ 図書館にある図書検索用のコンピュータに「ハテナ」と入力して検索する。(34字) ・ 自分の疑問について司書の先生に説明して、本を紹介してもらう。 (30字)				
		1◎	条件①②を満たして解答しているもの			61.0
		2	条件①を満たし、条件②を満たさないで解答しているもの (例) 図書館のパソコンで検索する。(14字) ←字数が不足している。			
		3	条件②を満たし、条件①を満たさないで解答しているもの (例) ハテナがどのようなものを食べて生きているのか調べる。(26字) ←調べたいことを調べるために必要な本の探し方が具体的に書かれていない。			
		9	上記以外の解答			
		0	無解答			

◆授業改善の方向

○興味をもったり疑問に思ったりしたことについて調べる授業展開例

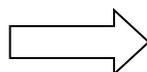
①身の回りの様々な事象から興味をもったり疑問に思ったりしたことを出し合い、**グループで一つの課題**を設定する。

《課題の例》

- ◇日本のカレーとインドのカレーはどのように違うのか。
 - ◇衣服の生地と機能にはどのような関係があるのか。
 - ◇10年後、生活を支援するロボットの開発はどのくらい進んでいるのだろうか。
- ②「**情報収集のためのワークシート**」を活用し、課題の解決に向けた**具体的な見通し**を立てる。
- ③「**情報収集のためのワークシート**」を基に、実際に**情報を収集**する。必要な情報を得ることができたかどうかや情報の出典などについて、記録しておく。
- ④収集した**情報を整理**し、「**情報収集のためのワークシート**」を見直しながら**グループで交流**する。
- ⑤必要に応じて、**情報の再収集**の方法について考える。
- ⑥収集した情報を整理し、グループで設定した**課題を解決**する。

(参照)「平成28年度授業アイデア例 P7～P8」

補充・補完指導をしましょう



チャレンジ問題 中2 7月

中学校 2 年数学【1】

◆出題の意図

- ① 二元一次方程式の解の意味を理解しているかどうかみる。
- ② 二元一次方程式の x と y に値を代入し、両辺の式の値が等しくなるときに、代入した値がこの方程式の解であり、その解は無数にあることの理解を促す指導を充実させる。

◆学習指導要領との関連

第2学年 A 数と式

- (2) 連立二元一次方程式について理解し、それを用いて考察することができるようにする。
 - ア 二元一次方程式とその解の意味を理解すること。

◆解答類型

	解 答 類 型	人	%
1	ア と解答しているもの		
2	イ と解答しているもの		
3◎	ウ と解答しているもの		
4	エ と解答しているもの		
9	上記以外の解答		
0	無解答		

◆学習指導に当たって

- ①この問題の補充・補完
レビュー問題：中2 ②-1-1

②授業改善

二元一次方程式の文字に様々な数を代入し、二元一次方程式を成り立たせる文字の値の組を探す活動を通して、二元一次方程式の解の意味を理解できるように指導することが大切である。

例えば、二元一次方程式 $x + 2y = 3$ は、 $x = 1$ 、 $y = 1$ であれば成り立つが、 $x = 1$ 、 $y = 2$ では成り立たないことを、 $x + 2y$ の式の値を基に判断できることを確認する場面を設定することが考えられる。その上で、二元一次方程式 $x + 2y = 3$ の x に整数だけでなく分数や小数も代入して y についての方程式をつくり、解となる x 、 y の値の組を求める活動を取り入れることが考えられる。このような活動を通して、二元一次方程式を成り立たせる x 、 y の値の組は無数にあることを理解できるようにすることが大切である。

中学校2年数学【2】

◆出題の意図

- ① 垂線の作図が図形の対称性を基に行われていることを理解しているかどうかをみる。
- ② 作図の仕方については、既習の図形の性質と関連づけた指導を充実させる。

◆学習指導要領との関連

第1学年 B 図形

- (1) 観察，操作や実験などの活動を通して，見通しをもって作図したり図形の関係について調べたりして平面図形についての理解を深めるとともに，論理的に考察し表現する能力を培う。
ア 角の二等分線，線分の垂直二等分線，垂線などの基本的な作図の方法を理解し，それを具体的な場面で活用すること。

◆解答類型

	解 答 類 型	人	%
1	ア と解答しているもの		
2	イ と解答しているもの		
3	ウ と解答しているもの		
4	エ と解答しているもの		
5◎	オ と解答しているもの		
9	上記以外の解答		
0	無解答		

◆学習指導に当たって

- ①この問題の補充・補完
レビュー問題：中1 ⑤-2-1

②授業改善

基本的な作図の基となっている図形の対称性を捉える場面を設定し，基本的な作図において，見通しをもって作図したり，作図の方法を見直したりすることができるように指導することが大切である。

本設問を使って授業を行う際には，作図の方法に基づいて垂線を作図した後，作図の方法を振り返る場面を設定することが考えられる。例えば，四角形ADPEにおいて，作図の方法①から $AD=AE$ ，②から $DP=EP$ になることを確認することを通して，直線APを対称軸とする線対称な図形が作図されたと捉えることができるように指導することが大切である。

また，他の基本的な作図においても，図形の対称性を基にしていることを見いだす活動を取り入れることが考えられる。その際，対称軸を明確にして根拠を説明することが大切である。

中学校2年数学【3】(1)

◆出題の意図

- ① 表やグラフから必要な情報をよみとり、事象を数学的に解釈することができるかどうかをみる。
- ② グラフの直線の傾きや切片、交点などが表している事柄について明らかにする指導を充実させる。

◆学習指導要領との関連

中学校第2学年 C 関数

- (1) 具体的な事象の中から二つの数量を取り出し、それらの変化や対応を調べることを通して、一次関数について理解するとともに、関数関係を見いだし表現し考察する能力を養う。
エ 一次関数を用いて具体的な事象をとらえ説明すること。

◆解答類型

	解 答 類 型	人	%
1	ア と解答しているもの		
2	イ と解答しているもの		
3	ウ と解答しているもの		
4◎	エ と解答しているもの		
5	オ と解答しているもの		
9	上記以外の解答		
0	無解答		

◆学習指導に当たって

- ①この問題の補充・補完
レビュー問題：中2 ③-2-2

- ②授業改善

本問題を使って授業を行う際には、印刷工房とらくらく印刷では、グラフの傾きがポスター1枚ごとの印刷料金を表していることや、らくらく印刷ではグラフの切片が製版代を表していることなど、グラフの意味を事象に対応させて解釈する活動を取り入れることが考えられる。その際、 x 軸に平行な直線で表される刷り屋のグラフは、ポスターの印刷料金が枚数によらず一定であることを示していることを確認する必要がある。さらに、グラフの交点の座標が何を表しているかを考える機会を設け、その座標が2つの店の印刷料金が同じになるポスターの枚数とその時の料金を表していることを確認することが考えられる。

中学校 2 年数学【3】(2)

◆出題の意図

- ① 表やグラフで与えられた情報をよみ、必要な情報をよみとり、事象を数学的に解釈することができるかどうかをみる。
- ② 方法の説明をする際に、「用いるもの」とその「使い方」を明示して説明する指導を充実させる。

◆学習指導要領との関連

中学校第 2 学年 C 関数

- (1) 具体的な事象の中から二つの数量を取り出し、それらの変化や対応を調べることを通して、一次関数について理解するとともに、関数関係を見だし表現し考察する能力を養う。
エ 一次関数を用いて具体的な事象をとらえ説明すること。

◆解答類型

解 答 類 型		人	%
(正答の条件) 次の(a), (b) または(a), (c) について記述しているもの。 (a) グラフ上で x 座標が 350 である点に着目すること。 (b) 上記(a)に対応する y の値を比較すること。 (c) 上記(a)に対応する点の位置の上下を比較すること。			
1	(a), (b) または(a), (c) について記述しているもの。 ◎ 例 1 3つのグラフの中で, x の値が 350 のときの y の値が最も小さいグラフで表された店を選ぶ。 例 2 3つの直線の中で, x 座標が 350 のときの点が最も下にある直線で表された店を選ぶ。		
2	(a) について, x を用いた記述がなく, (b) または(c) について記述しているもの。 ○ 例 ポスターが 350 枚のときの y の値が小さいグラフを選ぶ。		
3	(a) について記述し, (b) の記述が次のようなもの。 ○ ・ (b) について, y の値に関する記述が十分でないもの。 ・ (b) について, 比較に関する記述が十分でないもの。 例 x の値が 350 のとき, 料金が最も小さいグラフを選ぶ。		
4	(a) について記述し, (c) の記述が次のようなもの。 ○ ・ (c) について, 点の位置関係(上下)に関する記述が十分でないもの。 ・ (c) について, 比較に関する記述が十分でないもの。 例 3つの直線で, x の値が 350 のときの点を比べる。		
5	上記 1 ~ 4 以外で, (a), (b) または(a), (c) について, 記述が十分でないもの。		
6	(a) のみを記述しているもの。		
7	(b) のみ, または(c) のみを記述しているもの。		
8	(a), (b), (c) についての記述はないが, グラフに着目しているもの。		
9	上記以外の解答		
0	無解答		

◎解答として求める条件をすべて満たしている正答 ○設問の趣旨に即し必要な条件を満たしている正答(準正答)

◆学習指導に当たって

- ①この問題の補充・補完

レビュー問題：中2 ③-3-1

- ②授業改善

グラフを用いた問題解決の方法や手順について、グラフの「使い方」を的確に説明することが大切である。

本問題を使って授業を行う際には、グラフの「使い方」について、口述したり記述したりして説明し伝え合う活動を取り入れることが考えられる。その際、例えば、「350 枚の料金をみる」のように表現した生徒に対しては、「3つのグラフの中で, x の値が 350 のときの y の値が最も小さいグラフで表された店を選ぶ」のように、数学的な表現へと洗練する機会を設定することが考えられる。

中学校2年数学【4】(1)

◆出題の意図

- ① 予想された事柄を振り返って考えることができるかどうかをみる。
- ② 予想したことが正しいかどうかを判断し、説明できるようにする指導を充実させる。

◆学習指導要領との関連

第2学年 A 数と式

- (1) 具体的な事象の中に数量の関係を見だし、それを文字を用いて式に表現したり式の意味を読み取ったりする能力を養うとともに、文字を用いた式の四則計算ができるようにする。
- ア 簡単な整式の加法、減法及び単項式の乗法、除法の計算をすること。
- イ 文字を用いた式で数量及び数量の関係をとらえ説明できることを理解すること。

◆解答類型

	解答類型	人	%
1◎	①, ②, ③に, その和が9の倍数にならない連続する3つの奇数を入れ, ④が正しい和になっているもの。 例 ①3 ②5 ③7 ④15		
2	①, ②, ③に, その和が9の倍数にならない連続する3つの奇数を入れ, ④が計算誤りであったり, 無解答であったりするもの。 例 ①3 ②5 ③7 ④12		
3	①, ②, ③に, その和が9の倍数になる連続する3つの奇数を入れているもの。 例 ①1 ②3 ③5		
4	①, ②, ③に, 上記1, 3以外の数を入れているもの。 例 ①2 ②4 ③6		
5	①, ②, ③に, 文字式を入れているもの。 例 ① $2n-1$ ② $2n+1$ ③ $2n+3$		
9	上記以外の解答		
0	無解答		

◆学習指導に当たって

- ①この問題の補充・補完
クリア問題：中学校2学年5月②

②授業改善

ある事柄が成り立たないことを示すには、反例をあげればよいことを理解することが大切である。本問題を使って授業を行う際には、予想を立てるのに用いられた例以外の例も取り上げて、1つでも成り立たない例が見付かれば、その予想は誤りであることを理解できるようにすることが考えられる。このような活動を通して、ある事柄が成り立たないことを示すには、反例を1つあげればよいことを理解できるようにすることが大切である。

中学校2年数学【4】(2)

◆出題の意図

- ① 筋道立てて考え、事柄が一般的に成り立つ理由を説明することができるかどうかをみる。
- ② 事柄が成り立つ理由を事象に即して説明できるようにする指導を充実させる。

◆学習指導要領との関連

第2学年 A 数と式

- (1) 具体的な事象の中に数量の関係を見だし、それを文字を用いて式に表現したり式の意味を読み取ったりする能力を養うとともに、文字を用いた式の四則計算ができるようにする。
 - イ 文字を用いた式で数量及び数量の関係をとらえ説明できることを理解すること。
 - ウ 目的に応じて、簡単な式を変形すること。

◆解答類型

(正答の条件) 3(2n+3)と計算し、次の(a), (b)を記述している。 (a) 2n+3は自然数だから、 (b) 3(2n+3)は3の倍数である。			
1◎	(a), (b)の両方を記述しているもの。 例 3(2n+3) 2n+3は自然数だから、3(2n+3)は3の倍数である。 したがって、連続する3つの奇数の和は3の倍数である。	人	%
2○	(a), (b)のどちらか一方を記述しているもの。		
3	(a), (b)の両方を記述していないもの。		
4	(a), (b)の記述に誤りがあるもの。		
9	上記以外の解答		
0	無解答		

◎解答として求める条件をすべて満たしている正答 ○設問の趣旨に即し必要な条件を満たしている正答(準正答)

◆学習指導に当たって

①この問題の補充・補完

レビュー問題：中2 ①-2-1, チャレンジ問題：中学校2学年6月①

②授業改善

本問題を使って授業を行う際には、「3の倍数であることを説明するためには、式を $3 \times$ (自然数)の形にすればよい。」という見通しをもてるようにすることが大切である。このような見通しを基にして、 $6n+9$ を $3 \times \square$ の形にするために、 $6n=3 \times 2n$ 、 $9=3 \times 3$ であることを示し、分配法則を確認しながら、 $6n+9$ を $3(2n+3)$ と変形すればよいと気付くことができるようにすることが考えられる。

中学校2年数学【4】(3)

◆出題の意図

- ① 発展的に考え、見いだした事柄を説明することができるかどうかをみる。
- ② 事柄・事実の説明をする際に、「～は、…になる。」と表すことができる指導を充実させる。

◆学習指導要領との関連

第2学年 A 数と式

(1) 具体的な事象の中に数量の関係を見だし、それを文字を用いて式に表現したり式の意味を読み取ったりする能力を養うとともに、文字を用いた式の四則計算ができるようにする。

イ 文字を用いた式で数量及び数量の関係をとらえ説明できることを理解すること。

ウ 目的に応じて、簡単な式を変形すること。

◆解答類型

正答の条件	「○○は、◇◇になる」という形で、次の(a), (b) または(a), (c)の条件を満たし、成り立つ事柄を記述している。 (a) ○○が、「連続する4つの奇数の和」である。 (b) ◇◇が、「8の倍数」である。 (c) ◇◇が、次のいずれかである。 ・4の倍数 ・2の倍数(偶数でも可。)		
1◎	(a), (b)の条件を満たして記述しているもの。 例 連続する4つの奇数の和は、8の倍数になる。	人	%
2○	(a)の「連続する4つの奇数の和」に関する記述が十分でなく、(b)の条件を満たして記述しているもの		
3	(a)の「連続する4つの奇数の和」に関する記述がなく、(b)の条件を満たして記述しているもの。 例 8の倍数になる。		
4◎	(a), (c)の条件を満たして記述しているもの。		
5○	(a)の「連続する4つの奇数の和」に関する記述が十分でなく、(c)の条件を満たして記述しているもの。		
6	(a)の「連続する4つの奇数の和」に関する記述がなく、(c)の条件を満たして記述しているもの0.6 例 4の倍数になる。		
7	(a)の条件を満たし、(b), (c)以外に成り立つ事柄を記述しているもの。 ((a)の「連続する4つの奇数の和」に関する記述が十分でないものを含む。)		
8	「○○は、◇◇になる。」という形で、(a)の条件を満たし、成り立たない事柄を記述しているもの((a)の「連続する4つの奇数の和」に関する記述が十分でないものを含む。)		
9	上記以外の解答		
0	無解答		

◎解答として求める条件をすべて満たしている正答 ○設問の趣旨に即し必要な条件を満たしている正答(準正答)

◆学習指導に当たって

①この問題の補充・補完

チャレンジ問題：中学校2学年6月①

②授業改善

数や図形に関する性質を予想し、「～は、……になる(である)。という形で主語(説明する前提や根拠)と述語(説明される結論)を明確にして表現することが大切である。

本問題を使って授業を行う際には、「和は、8の倍数になる。」など、主語が明確に表現できていない予想を取り上げ、この表現では相手に予想した内容を正確に伝えられないことから、条件を明確にして主語と述語を表現することの大切さを実感できる活動を取り入れることが考えられる。

中学校2年数学【5】(1)

◆出題の意図

簡単な連立二元一次方程式を解くことができるかどうかをみる。

◆学習指導要領との関連

第2学年 A 数と式

(2) 連立二元一次方程式について理解し、それを用いて考察することができるようにする。

ウ 簡単な連立二元一次方程式を解くこと及びそれを具体的な場面で活用すること。

◆解答類型

	解答類型	人	%
1◎	($x=$) $5/2$, ($y=$) $1/2$ と解答しているもの。または, ($x=$) 2.5 , ($y=$) 0.5 と解答しているもの。		
2○	x , y の値について, 1 と同値であるもの。		
3	x の値のみを正しく解答しているもの。		
4	y の値のみを正しく解答しているもの。		
5	($x=$) $1/2$, ($y=$) $5/2$ と解答しているもの。		
6	($x=$) $7/4$, ($y=$) $1/4$ と解答しているもの。		
9	上記以外の解答		
0	無解答		

◆学習指導に当たって

①この問題の補充・補完

レビュー問題：中2 ②-1-2 他

②授業改善

連立二元一次方程式を解く場面において、2つの文字のうち一方の文字を消去して一元一次方程式に帰着させればよいという考え方を理解し、加減法や代入法を用いて工夫して解くことができるように指導することが大切である。

本設問を使って授業を行う際には、加減法や代入法を用いて解き、それぞれの解き方を比較して、加減法と代入法に共通する考え方を理解したり、それぞれの解き方のよさを実感したりすることができる場面を設定することが考えられる。その際、求めた x , y の値をもとの連立二元一次方程式の x , y に代入し、2つの二元一次方程式が成り立つことを確認する活動を取り入れることが大切である。また、誤って変形した例を示し、誤りを指摘し修正することができるように指導することも考えられる。

中学校2年数学【5】(2)

◆出題の意図

代表値の意味を理解しているかどうかをみる。

◆学習指導要領との関連

第1学年 D 資料の活用

- (1) 目的に応じて資料を収集し、コンピュータを用いたりするなどして表やグラフに整理し、代表値や資料の散らばりに着目してその資料の傾向を読み取ることができるようにする。
ア ヒストグラムや代表値の必要性和意味を理解すること。

◆解答類型

		解答類型	人	%
①	1◎	90 と解答しているもの。		
	2	30 から 120 と解答しているもの。		
	9	上記以外の解答		
	0	無解答		
②	1◎	65 と解答しているもの。		
	2	60 から 70 と解答しているもの。		
	3	75 と解答しているもの。(データの最大値と最小値の平均値)		
	4	69 と解答しているもの。(平均値)		
	9	上記以外の解答		
	0	無解答		

◆学習指導に当たって

①この問題の補充・補完

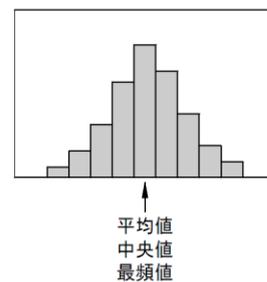
レビュー問題：中1 ⑦-1-2 他

②授業改善

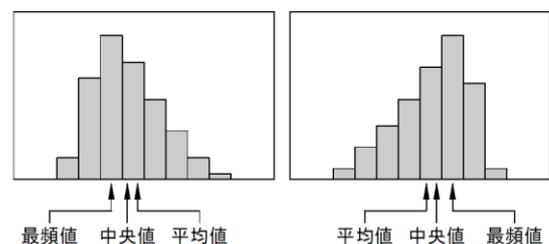
分布の形が異なる様々な資料について、資料の傾向を捉えるためにどの代表値を用いるとよいかを考察する活動を取り入れ、代表値の必要性和意味を理解し、適切な代表値を求めることができるように指導することが大切である。

例えば、ある資料の傾向を捉えるために、度数分布表やヒストグラムを作成し、代表値を求めることができるように指導することが大切である。その際、右の図のように、対称な分布や非対称な分布を取り上げ、どの代表値を用いて資料の傾向を捉えるとよいかを考察する場面を設定することが大切である。

対称な分布の例



非対称な分布の例



中学校2年数学【5】(3)

◆出題の意図

関数の意味を理解しているかどうかをみる。

◆学習指導要領との関連

第1学年 C 関数

(1) 具体的な事象の中から二つの数量を取り出し、それらの変化や対応を調べることを通して、比例、反比例の関係についての理解を深めるとともに、関数関係を見だし表現し考察する能力を培う。

ア 関数関係の意味を理解すること。

◆解答類◆解答類型

	解答類型	人	%
1◎	①に面積と解答し、②に縦の長さで解答しているもの。		
2○	上記1以外で、①に面積と解答しているもの。		
3	上記1以外で、②に縦の長さで解答しているもの。		
4	①に縦の長さで解答し、②に面積で解答しているもの。		
5	上記4以外で、①に縦の長さで解答しているもの		
6	上記4以外で、②に面積で解答しているもの。		
7	①、②のいずれかに、縦の長さ と 面積 の両方を解答しているもの。		
9	上記以外の解答		
0	無解答		

◆学習指導に当たって

①この問題の補充・補完

レビュー問題：中1 ④-1-1 他

②授業改善

事象の中にある2つの数量の変化や対応の様子を調べ、それらの関係を見出す活動を通して、関数の意味を理解できるように指導することが大切である。その際、独立変数と従属変数との違いを意識して「...は...の関数である」という形で表現できるように指導することが大切である。

本問題を使って授業を行う際には、問題場面から様々な数量を取り出し、その中から「縦の長さ」と「面積」の関係について、縦の長さを決めると面積がただ1つに決まることを確認し、「面積は縦の長さの関数である」という形で表現する活動を取り入れることが考えられる。また、周りの長さを決めても面積は決まらないなどのように一方の値を決めても他方の値がただ1つに決まらないような関係を取り上げ、関数の意味の理解を深めることも考えられる。なお、独立変数と従属変数の違いについては、第3学年で扱う関数 $y = ax^2$ のように、 x を決めると y が決まるが、 y を決めても x が決まらない関数で改めて考察し、より一層理解が深められるようにすることが考えられる。

◆出題の意図

本文の中から手がかりとなる語句や表現を見つけ、選択肢の中から適切な答えを選択することができるかどうかをみる。

○1－【1】

「駅に」と「ニューヨーク行き」という表現に着目し、選択肢を適切に選ぶことが求められる。

○1－【2】

前の文の「犬のように見えるが、そうではない」という表現から疑問詞として何がふさわしいかを、適切に選ぶことが求められる。

○1－【3】

話題の要旨として、ゴリラに関わる獣医の話であることをつかみ、下線部 **They** の文の前にある **Mike became a leader of 16 vets.** を理解して、**They** の指す内容を解答することが求められる。

○1－【4】

記事の要旨として、中国語についての内容であることをつかみ、後半の3文から特に中国語を学習することについて書かれていることを理解して解答することが求められる。

○1－【5】

「どんな商品が特売になっているか」という問いに対して、必要な情報である **All summer sports goods are 30%off.** という情報を探し出し、解答することが求められる。

○1－【6】

「金曜日是何時に閉店するか」という質問に対して、金曜日の営業時間が、**10AM－8 PM from Monday to Saturday** という情報に該当することを理解して、解答することが求められる。

○2－【1】

ロボコップが話す言語については、第1段落に書かれている。**How many languages ~?** の疑問文に対して **Arabic, English, French, German, Hindi and Urdu** に着目し、ロボットの話すことができる言語の数として解答することが求められる。

○2－【2】

[B]～[D]の本文と合わない表現や内容を見つけることと、[A]の内容が、**Dubai will also have the world's first smart police office. Only robots will work there.** と合っていることに注目して解答することが求められる。

◆学習指導要領との関連

(1) 言語活動

ウ 読むこと (ウ) 物語のあらすじや説明文の大切な部分などを正確に読み取ること。

◆解答類型

○1－【1】

1	[A] と解答しているもの	人	%
2	[B] と解答しているもの		
3◎	[C] と解答しているもの		
4	[D] と解答しているもの		
9	上記以外の解答		
0	無解答		

○1－【2】

1	[A] と解答しているもの	人	%
2◎	[B] と解答しているもの		
3	[C] と解答しているもの		
4	[D] と解答しているもの		
9	上記以外の解答		
0	無解答		

○1－【3】

1	[A] と解答しているもの	人	%
2◎	[B] と解答しているもの		
3	[C] と解答しているもの		
4	[D] と解答しているもの		
9	上記以外の解答		
0	無解答		

○1－【4】

1	[A] と解答しているもの	人	%
2	[B] と解答しているもの		
3◎	[C] と解答しているもの		
4	[D] と解答しているもの		
9	上記以外の解答		
0	無解答		

○1－【5】

1	[A] と解答しているもの	人	%
2	[B] と解答しているもの		
3◎	[C] と解答しているもの		
4	[D] と解答しているもの		
9	上記以外の解答		
0	無解答		

○1－【6】

1	[A] と解答しているもの	人	%
2◎	[B] と解答しているもの		
3	[C] と解答しているもの		
4	[D] と解答しているもの		
9	上記以外の解答		
0	無解答		

○2－【1】

1	[A] と解答しているもの	人	%
2	[B] と解答しているもの		
3	[C] と解答しているもの		
4◎	[D] と解答しているもの		
9	上記以外の解答		
0	無解答		

○2－【2】

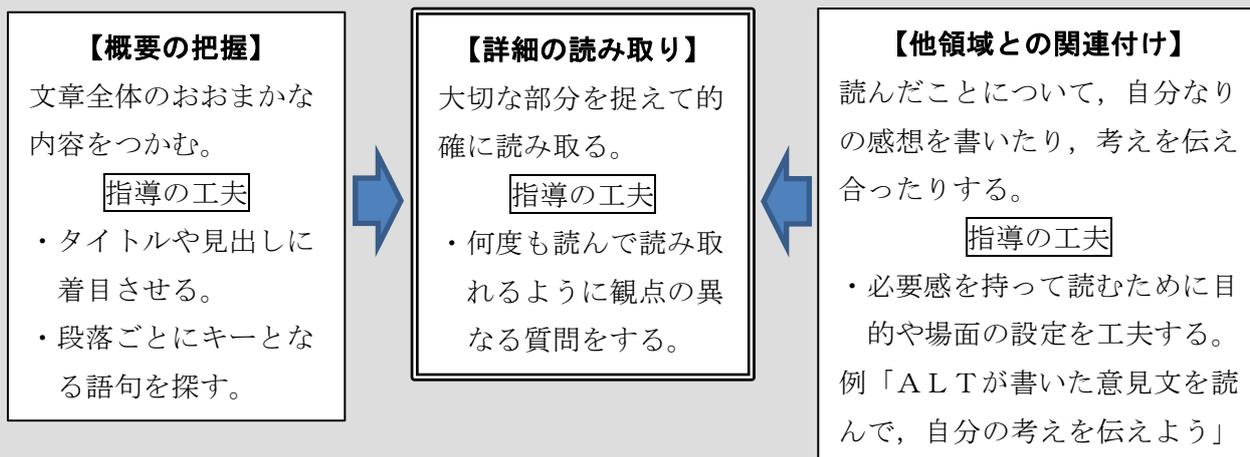
1◎	[A] と解答しているもの	人	%
2	[B] と解答しているもの		
3	[C] と解答しているもの		
4	[D] と解答しているもの		
9	上記以外の解答		
0	無解答		

◎解答として求める条件を満たしている正答

◆学習指導にあたって

授業で段階的な読み取りを行い、「読むこと」の力を高めていきましょう。

「読むこと」の指導では、書き手が伝えたいことを正確に読み取ることが大切です。そのために主人公は誰か、話がどのように展開していくかなど、おおまかな流れをつかんだ上で、大切な部分や必要な情報を捉えて的確に読み取る力をつけていきましょう。その際、まず「概要の把握」として、キーワード等をもとに内容を推測して、段落ごとに、また、各段落を関連させて概要をつかみます。次に「詳細の読み取り」として、事実や事柄を的確に捉えます。そのために、内容に関わる発問を工夫することが必要です。



◆観点の異なる質問の例

Nancy flies to Europe twice a year to buy fashionable clothes.

という文に対する発問の例

事実発問 (fact-finding questions)

テキスト上に直接示された内容を読み取らせる。

Where does Nancy go twice a year?

推論発問 (inferential questions)

テキスト上の情報をもとに、テキスト上には直接示されていない内容を推測させる。

Does Nancy have a lot of money?

評価発問 (evaluative questions)

テキストに書かれた内容に対する読み手の考えや態度を答えさせる。

If you have a lot of money, do you want to buy many clothes? Why do you think so?

◆出題の意図

「ロボットができること」と「ロボットができることについてどう思うか」について、英文で書くことができるかどうかをみる。

ここでは、正しい語順や語法を用いたり、つながりのある文構成を意識したりして書く力が求められる。

◆学習指導要領との関連

(1) 言語活動

エ 書くこと (イ) 語と語のつながりなどに注意して正しく文を書くこと。

(オ) 自分の考えや気持ちなどが読み手に正しく伝わるように、文と文のつながりなどに注意して文章を書くこと。

正答例※固有名詞の綴りは間違っているとしても、理解できればよい。

〈例 1〉

Some robots can (help people) . I think that (it is great) .

〈例 2〉

Some robots can (talk with people) . I think that (robots will read people's feeling in the future) .

〈例 3〉

Some robots can (play shogi) . I think that (robots will be stronger than men.)

〈例 4〉

Some robots can (help people) . I think that (it is fun) .

〈例 1〉は「人々を助ける」という表現と、「そのことは素晴らしい」という内容とが関連付けられて書かれているので正答となります。しかし、〈例 4〉は「人々を助ける」と、「それはおもしろい」ということとは関連がないので、正しい語順で書けていても誤答となり、解答類型は類型 3 に分類します。

◆解答類型

正答の条件

- ① 「ロボットができること」と「ロボットができることについてどう思うか」の2つの内容が関連付けて書かれている。
- ② can の後に動詞, I think that の後に主語+動詞の語順で書けている。
- ③ スペリングミスをしていない。(固有名詞のスペリングは例外)

1◎	①, ②, ③ をすべて満たすもの	人	%
2○	①, ② を満たすもの		
3	1, 2 以外であるが, 内容的に理解できる文が書かれているもの		
9	上記以外の解答		
0	無解答		

◎解答として求める条件をすべて満たしている正答

○出題の意図に即し必要な条件を満たしている正答 (準正答)

◆学習指導にあたって

まとまりのある文章を正しく書くために, 段階を踏んで指導していきましょう。

「まとまりのある文章を正しく書く」ための段階を踏んだ指導 (例)

- ①身近な事柄や自分の考え, 気持ちなどを表すために必要な文法事項や表現を教科書で学習したあと, 生徒が書く必要感がもてる場を設定し, 書く活動を位置付けましょう。
- ②書く見通しをもたせるために, 教科書本文をもとに書く型を示したり, 教師のモデルから活用できる表現に気付かせたりするなどの指導の工夫をしましょう。
- ③文の完成後は, 観点を明確して生徒同士で読み合ったり, 教師が添削したりして, 生徒が英文の内容や構成, 表記の正しさに目を向けるような場面を位置付けましょう。
- ④英文を正しく書く力の定着を図りましょう。
 - ・語順や文のつながりに着目できる活動を取り入れていきましょう。
 - ・家庭学習で, 授業で学習した内容をもとに課題を出しましょう。